

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎講座14							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	3年	4期	初貝 幸江				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
基礎分野	科学的思考の基盤人間と生活		座学	1	10		
科目概要							
介護職には「その人の望む生活の実現」に向けて多職種協働の中で支援実践能力を養うことが重視されています。また現在の多死社会におけるACPでは、その対象者を支える医療・介護・福祉領域の専門職としてその専門性に応じた役割を担うことも求められるものです。これらを踏まえ鍼灸師は地域における支援チームの人財であることを理解してください。							
目標							
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	高齢者・障害を持つ方々が、よりよく生きるための地域共生社会を支える立場になり得る鍼灸師のあり方を考えられる。また高齢者等とその家族が抱える課題の多様性について理解を深め自己の職業観、倫理・価値観を振り返り点検することができる。						
	到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1.高齢者関連の法制度の概要が理解できる。 2.高齢者の特性に応じた支援を理解し支援のあり方を考察することができる。 3.家族介護者の福祉サービスについて調査し理解する。 4.生活障害のある高齢者へ移乗・移動技術を理解し実践できる。 5.多職種協働における専門職の役割と家族支援について習得する。					
履修に必要な予備知識や技能							
1.自身の居住地域における介護・福祉サービス 2.メディア等の介護関連報道							
教科書・参考書							
配布資料等							
受講上の注意							
配布資料等を適宜保管							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	70	10	20				100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	高齢者福祉に関する法制度2-①			資料当日(事前)	事前に周知する		
第2回	高齢者福祉に関する法制度2-②			〃	〃		
第3回	コミュニケーション技術・認知症高齢者に応じた支援2-①			〃	〃		
第4回	コミュニケーション技術・認知症高齢者に応じた支援2-②			〃	〃		
第5回	コミュニケーション技術・家族の介護力を踏まえた支援2-①			〃	〃		
第6回	コミュニケーション技術・家族の介護力を踏まえた支援2-②			〃	〃		
第7回	困難事例「養護者(家族)による不適切ケア」			〃	〃		
第8回	高齢者・障害者への移動・移乗			〃	〃		
第9回	介護の実際 ゲストスピーカー・介護福祉職種から			〃	〃		
第10回	試験			〃	〃		
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
hatsugai-t@nihonisen.ac.jp							